

藤沢市 平成30年度事務事業評価シート(平成29年度分)

事務事業名	藤沢地区まちづくり事業費										担当	部課名	生涯学習部 藤沢公民館			
予算科目コード	会計	01	款	02	項	01	目	12	細目	002	説明	12	課等の長	矢田 洋一	電話	6737

1. 事業概要

事業開始年度	平成 23 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	地域主体のまちづくりを推進するため、地域の特性を生かしながら、各地区それぞれの事業に取り組むもの。						
事業目的および必要性	地域まちづくりのテーマ「歴史と文化が息づく、湘南藤沢の都心部拠点」を実現するため、地域の特性を生かしたまちづくり事業を進める必要がある。						
対象	1. 個人	市民(藤沢地区)				44,373 人	
根拠法令等	その他(要綱等)						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施						
	<input type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先:)						
	(委託等内容:)						
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 (補助金: 旧東海道藤沢宿まちそだて隊)						
<input type="checkbox"/> その他 ()							
藤沢市市政運営の総合指針2020				その他の計画との関連			
重点施策名		指針体系コード					
コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進		4-3-161					
関連の深い「市民生活に関する意識調査結果」							
市民意識調査における質問項目		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
市民の意識が高く、市民参加型の地域づくりが進んでいること		2.8 点	2.8 点	2.7 点	2.79 点		
市民主体のまちづくり活動について		3.03 点	3.02 点	3.03 点	3.03 点		

平成29年度 支出済額	事業費節別内訳		
	費目	支出済額(千円)	主な事業内容
	需用費	934 千円	街灯フラッグ作製, 藤沢宿まっぷ改訂
	負担金補助及び交付金	834 千円	地域まちづくり事業補助金
1,768 千円			
【参考】 平成30年度 予算額	事業費節別内訳		
	費目	予算額(千円)	主な事業内容
	需用費	1,083 千円	トランスボックス修繕, 藤沢宿まっぷ増刷
	負担金補助及び交付金	1,150 千円	地域まちづくり事業補助金
2,233 千円			

2. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
正規職員等	1.05	0.95	0.66	0.70
再任用短時・任期付短時職員	0.00	0.00	0.00	0.00
非常勤職員	0.00	0.00	0.00	0.00
合計	1.05	0.95	0.66	0.70

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

3. 事業実施内容・成果

平成29年度 事業実施 内容	①藤沢宿活性化事業：本町白旗商店街及び国道467号線沿いの街灯ポールに「藤沢宿フラッグ」を掲出。旧東海道三宿連携事業（講演会・スタンプラリー）および藤沢地区地域イベント（藤沢宿まつり）を実施した「旧東海道藤沢宿まちそだて隊」に補助金を交付した。						
	指標名	単位	平成26年度 目標値	平成27年度 目標値	平成28年度 目標値	平成29年度 目標値	備考
成果目標	誇りと愛着を持てるまちづくりに寄与する事業実施数（累計）		13	19	28	-	
	誇りと愛着を持てるまちづくりに寄与する事業実施数（単年度）		-	-	-	6	
参考							
活動実績	指標名	単位	平成26年度 実績値	平成27年度 実績値	平成28年度 実績値	平成29年度 実績値	備考
	着手事業数	事業	2	6	6	3	
成果実績	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	実績値	備考
	誇りと愛着を持てるまちづくりに寄与する事業実施数（累計）	事業	13	19	25	29	
	「藤沢宿まつり」参加者数	人	2000	3500	4500	4800	
数値で表せない効果							
地区内の歴史的資源を活用したイベント等を実施することにより、地区内を訪れる観光客数が増え、地元に対する誇りと愛着を持つ市民が増えた。また、地区内のこども110番を記したマップを配布することにより、子どもへの犯罪抑止の意識高揚が図られた。							

4. コスト分析

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
コスト	行政費用(フルコスト) A	1,401	11,829	8,550	8,493	
	(1)現金を伴う支出 (千円)	16,960	12,203	9,558	8,534	
	事業費(支出済額-②報酬合計)	7,219	3,133	3,192	1,768	
	償還金利子	0	0	0	0	
	人件費合計(①+②+③)	9,741	9,070	6,366	6,766	
	職員数(常勤 非常勤)	1.05 0.00	0.95 0.00	0.66 0.00	0.70 0.00	
	参考:正規職員平均給与	8,880	9,040	9,101	9,219	
	①職員給与合計(常勤)	9,143	8,588	6,007	6,453	
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0	
	③退職金相当額	598	482	359	313	
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-15,559	-374	-1,008	-41	
	①減価償却費	0	0	0	0	
	②退職給与引当金繰入額	-15,559	-374	-1,008	-41	
	③不納欠損額	0	0	0	0	
④その他()	0	0	0	0		
行政収益(事業収入) B	0	0	0	0		
(3)現金を伴う収入 (千円)	0	0	0	0		
①分担金及び負担金 c	0	0	0	0		
②使用料及び手数料 d	0	0	0	0		
③国庫支出金	0	0	0	0		
④県支出金	0	0	0	0		
⑤その他()	0	0	0	0		
(4)現金を伴わない収入 (千円)	0	0	0	0		
収入未済増減額	0	0	0	0		
収支差額(純費用)A-B E	1,401	11,829	8,550	8,493		
分析指標	項目	単位	単位	単位	単位	
	1単位あたりの総費用 A/F (円)	F	0.00	0.00	0.00	
	市民1人あたりの負担額 E/人口 (円)		3.35 418,308	28.12 420,619	20.11 425,105	19.87 427,501
	受益者負担率 (C+D)/A (%)		0.00	0.00	0.00	0.00

※1 職員数・・・(常勤)一般職員,再任用職員,任期付職員,嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員(一部日額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・(常勤)任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬(一部日額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し,事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成28年度の課題	統合・再編したまちづくり事業を効果的・効率的に実施するため、事業内容を精査し、必要に応じ改善する必要がある。
(2) (1)解決のための平成29年度の取組	他地区・他自治体における取組事例なども研究し、事業の参考とする。
(3) 平成29年度の課題	特定の事業のみへ委員の関心が注がれており、特定の事業が進んでいく一方で、他の事業提案に行き詰まりが見られた。
(4) (3)解決のための今後の取組	様々なアプローチによるまちづくりを推進するため、他地区の事業や今までとは違った視点を持つ機会が必要である。

6. 事務事業の特徴

(1) 事業の性質	① 法的根拠		
	<input type="radio"/>	ア=法令等の根拠はないが、市の裁量により実施するもの(イ～オ以外) イ=市の条例等で規定されている事業 ウ=県の条例等で事業の実施について推奨・規定されているもの エ=国の法律で事業の実施について推奨・規定されているもの オ=法律等により、事業の実施が義務付けられているもの(市に裁量の余地がないもの)	
	② 事業実施の位置づけ(市民へのサービス提供状況)		
	<input type="radio"/>	ア=国、県、他自治体や民間等も、市内や近隣市町村で市民が利用できる同種のサービスを提供しているもの イ=国、県、他自治体等も、市内や近隣市町村で市民が利用できる同種のサービスを提供しているもの ウ=国、県、他自治体等も同種のサービスを提供しているが、一部のサービスは本市のみが提供しているもの エ=本市のみがサービスを提供し、よりよい生活環境の実現、地域の発展、市民生活の向上を目的とするもの オ=本市のみがサービスを提供し、生活基盤の維持・確保、市民の権利維持・安全確保を目的とするもの	
	③ 事業期間		
	<input type="radio"/>	ア=恒久的に実施するもの イ=年限の定めのないもの ウ=時限的に実施する事業で、終了まで5年以上あるもの エ=時限的に実施する事業で、今後2～4年で終了するもの オ=時限的に実施する事業で、本年度で終了するもの	
	(2) 財政的な特徴	④ 事業費…平成29年度支出済額	
		<input type="radio"/>	ア=300,000千円以上 イ=100,000千円以上～300,000千円未満 ウ=30,000千円以上～100,000千円未満 エ=5,000千円以上～30,000千円未満 オ=5,000千円未満
		⑤ 一般財源比率…事業費に占める一般財源の割合	
		<input type="radio"/>	ア=80%以上 イ=50～80%未満 ウ=30～50%未満 エ=10～30%未満 オ=10%未満
⑥ 固定的経費比率…行政費用(フルコスト)に占める固定的な経費の割合			
<input type="radio"/>		ア=10%未満 イ=10～30%未満 ウ=30～50%未満 エ=50～80%未満 オ=80%以上	

(3) 事業の種類	(4) その他の事業特性
2. 市民等サービス(その他)	

7. 事務事業を取り巻く環境の現状と今後の予測

社会情勢等	郷土づくり推進会議をはじめ各地域団体において担い手となる人材が高齢化している現状がある。	
	他市においても、地域市民と行政が協働し、地域のまちづくりへの取組を行っている。	
市民ニーズ	把握方法	地区全体集会、まちづくり懇談会等
	把握内容	藤沢地区のまちづくり全般に対する意見、要望など
	対応等	地域まちづくり計画の実施及び郷土づくり推進会議の協議等の参考とする。

8. 事務事業の評価と今後の方針

評価	藤沢地区は、地域の行政拠点としての活動とともに景観モデル地区である「旧東海道藤沢宿」のにぎわい創出や地域経済活性化を推進する役割を担っている。新たに誘客イベントを藤沢地区に誘致するなど着実に活性化を推進し、他の継続事業も見直し・更新を加えながら、的確かつ有効な事業展開を図った。	
	まちづくりテーマ	④ 健康で豊かな長寿社会をつくる
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	藤沢地区として、歴史的背景など特徴を生かした街づくりの取組や他の宿場町との連携による藤沢宿活性化への取組のほか、今後は他地区の取組も参考にし、別の視点でまちづくりへの取組を実施したい。また、地区内商店会や藤沢宿まちそだて隊等と連携を密にし、事業の計画及び実施をより地域主体的なものに再構築する。	

9. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
20	郷土づくり推進会議の開催について	無	無	1	2
25	地域市民の相談及び要望の処理並びにこれらに係る連絡調整	無	無	3	3

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

10. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	秋山 曜	確認日	2018/6/1
----	-------	----	------	-----	----------